

特別展「高岡市平和都市宣言10周年記念 戦時下の暮らし」出品目録
〔会期：平成28年7月23日(土)～10月10日(月・祝)〕

1 戦場への道

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横, cm)	備考	所蔵
1	充員・臨時招集令状(レプリカ)	昭和前期	2	—	在郷軍人・国民兵などを召集する命令文書。淡い赤色に染められていたので、俗に「赤紙」といった	個人
2	『軍隊手帳』	昭和17年(1942)発行	1	12.9×9.0	兵士が携行した手帳	当館
3	奉公袋	—	1	30.8×19.8	兵士が入営の際に軍隊手帳や召集令状・勲章・記章などを入れておくための袋	当館
4	帝国在郷軍人 奉公袋	—	1	29.4×22.6	在郷軍人とは、兵役を終えるなどした軍人のこと。有事の際には召集された	当館
5	日の丸寄せ書き	—	3	—	死を覚悟して出征する兵士に、親戚・職場・隣近所の人たちが寄せ書きして贈った	和田美寿子氏, 当館
6	祝入営のぼり旗	—	3	—	出征兵士を見送る際に掲げられたもの	当館
7	梶原町出征兵士送迎旗	—	1	144.4×179.2	町内から出征する兵士を送迎する際の祝宴などに使用されたと思われる	当館
8	写真「出征兵士」	昭和初期	1	—	戦局が激しくなるにしたがって、毎日のように出征兵士の見送りがあった	高岡市
9	写真「日中戦争時の出征祝」	昭和12年(1937)	1	—	出征する兵士を中心に、大日本国防婦人会員らをも交えた盛大な壮行会の様子	当館
10	写真「出征兵士の見送り」	昭和戦中	1	—	町内の人々や市の関係者が出征兵士を町をあげて激励した	高岡市
11	「聖戦下之世界大展覽図」	昭和17年(1942)	1	155.8×152.6	日本軍の「最大進出線」に近い図。東亜文化振興研究会編纂	神保成伍氏
12	図囊・背囊	—	2	—	陸軍士官用。図囊は地図などを入れた小型かばん	当館
13	双眼鏡	—	1	幅13.1	陸軍尉官用。倍率8倍	当館
14	軍用防寒手袋	—	2	—	革製。手首部分の裏地には毛皮が使用されており、防寒効果を高めている	当館
15	包帯包	—	1	幅9.0×奥行7.0×高3.7	日本陸軍の支給品。消毒液を染み込ませたガーゼと三角巾を使って止血する	当館
16	航空頭巾・飛行眼鏡	—	2	—	頭巾の額の部分には丸い革が縫い付けられ、陸軍を示す星型の飾り縫いがされている	当館
17	将校用軍帽	—	1	幅23.0×奥行26.5×高9.7	陸軍将校用。明治45年制式の「四五式」	当館
18	少尉用肩章・襟章	—	4	—	陸軍少尉用。肩章は明治45年に制定され、昭和13年(九八式)に襟章に変更された	当館
19	昭和刀 銘 川村正信(刻印「関」)	昭和12～16年(1937～41)	1	全長83.3×刃渡り62.7	岐阜県関町(現関市)で作られた軍刀	当館
20	尉官用正刀帯	—	1	—	陸軍将校(幹部)が礼装時に着用する大礼服の腰に装着するベルト	当館
21	下士官用長靴	—	2	—	乗馬用のブーツ	当館
22	陸軍編上靴	—	4	—	右は下士官用で表革、左が兵用で裏革(バックスキン)になっている	当館
23	軍服(夏衣・袴)	夏衣：昭和20年(1945)製、袴：同16年(1941)製	2	—	陸軍兵用の軍服。共に広島陸軍被服支廠(現存)での検定がなされている	和田美寿子氏
24	防暑帽	昭和18年(1943)製	1	—	陸軍兵用。内部に竹が使用されており、型崩れしにくい丈夫な作りとなっている	当館
25	歩兵将校用ゲートル	—	2	—	ズボンの裾を押さえて、足首から膝まで覆うもの。巻脚絆ともいう	当館
26	防寒靴	昭和18年(1943)製	2	—	陸軍軍装品。防寒効果を高めた靴。底部に「九六式」とある	当館
27	水筒	—	2	—	尉官用と下士官兵用	神保成伍氏, 当館
28	背囊・雑囊	—	2	—	陸軍兵用軍装品。雑囊はショルダーバッグ	和田美寿子氏
29	飯盒	昭和15年(1940)製	1	幅20.3×高14.5	炊飯器を兼ねる弁当箱。アルミ製。二合炊き	当館
30	軍服(夏衣)	昭和20年(1945)製	1	着丈63.0×肩幅43.0×袖丈54.5	陸軍兵下士官用の軍服。昭和18年に制定された「三式」という型式。戸出物産株式会社製	当館

31	軍服（冬衣）	昭和15年(1940)製	1	着丈70.0×肩幅42.0×袖丈51.0	陸軍下士官兵用の軍衣。昭和13年（皇紀2598年）に制定されたので「九八式」という	当館
32	兵隊盃	昭和前期	2	—	除隊した兵士がお祝いに配ったもの。漆器	当館
33	陸軍第九師団除隊記念徳利・盃	昭和前期	4	—	陸軍第九師団の山砲第九連隊の砲弾型と、背に爆弾を背負った兵隊型	当館
34	昭和六年乃至九年事変従軍記章授与状	昭和12年(1937)7月7日	1	32.3×42.1	満州・上海事変に従軍した陸軍獣医中尉に賜与されたもの	当館
35	昭和六年乃至九年事変金百七拾五円授与状	昭和12年(1937)7月7日	1	28.3×22.7	満州・上海事変における勲功により陸軍獣医中尉に授与されている	当館
36	記章	—	3	—	昭和六年乃至九年事変従軍記章、紀元二千六百年祝典記念章、大東亜戦争記念之章。上記獣医宛	当館
37	支那事変従軍記章授与状	昭和15年(1940)4月29日	1	22.2×30.7	昭和14年7月27日に制定された「支那事変従軍記章令」（勅令第496）によって授与されたもの	当館
38	勲八等瑞宝及び金九拾円授与状	昭和15年(1940)4月29日	1	29.9×41.8	支那事変における勲功により陸軍輜重兵二等兵に授与されている	当館
39	記章	—	2	—	支那事変従軍記章、勲八等瑞宝章。上記二等兵宛	当館
40	写真「戦死者町葬」	昭和7年(1932)	1	—	上海事変で爆死した海軍一等機関兵曹を送る公葬	当館
41	写真誌にみる戦局の推移	昭和6～20年(1931～45)	15	—	昭和6年の満州（中国東北地域）事変から同20年の終戦にいたる各種写真誌	神保成伍氏、当館
42	軍事郵便	昭和14～16年(1939～41)	15	—	高岡市下川原町出身で陸軍に召集された赤田友市氏(1918～2015)より家族宛て（全22通）	当館
43	軍事郵便	昭和戦中	2	—	満州の部隊に属する兵隊からの軍事郵便	神保成伍氏
44	海軍報国号献納飛行機「荒野日本晴号」関係資料	昭和19年(1944)	4	—	高岡市の酒造業荒野権四郎氏が10万円を寄付して献納した艦上爆撃機（報国2866号）	当館
45	戦時下国債類購入や貯金の雑誌広告、各種債券・通帳類	昭和戦中	20	—	戦争が拡大すると軍事費は膨大化し、それを賄うため政府は増税や貯蓄奨励のほか、各種の戦時国債を多発した	神保成伍氏、当館

2 戦時下の人々の暮らし

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横, cm)	備考	所蔵
1	写真「大日本国防婦人会の奉仕活動」	昭和10年(1935)	1	—	婦人会の活動は、慰問袋の作成・傷病兵の慰問・千人針の奉仕・兵士の送迎など多岐にわたった	高岡市
2	写真「大日本国防婦人会（高岡市成美婦人会）」	昭和前期	1	—	背景の建物に「高岡市医師会」「富山県高岡保険相談所」などの看板がみられる	当館
3	写真「タスキがけの愛国婦人会員」	昭和戦中	1	—	慰問袋に慰問品を入れている愛国婦人会員たち	高岡市
4	モンペ	—	1	丈87.0	女性用の袴。第二次世界大戦中には女性の活動着としてなかば強制的に着用が義務づけられた	当館
5	「愛国婦人会」・「大日本国防婦人会」タスキ	—	2	—	白い割烹着にタスキ掛けが銃後の女性のユニフォームであった	当館
6	千人針	昭和戦中	2	—	弾除けのお守り。千人の女性に一針ずつ縫い玉をつけてもらった	当館
7	大東亜まち針	昭和戦中	1	5.8×10.0	包み紙に「進め一億火の玉だ」と記されている	神保成伍氏
8	国民精神総動員絵はがき	昭和12～15年(1937～40)頃	3	—	「時局ポスター展」入選作。国民精神総動員中央連盟発行	当館
9	写真「戦勝祈願する市民」	昭和戦中	1	—	学校をはじめ各種団体が勝利を信じ、射水神社に参拝した	高岡市
10	写真「高岡市内での防火演習」	昭和10～20年(1935～45)	2	—	大福院通り（神子坂）と思われる	高岡市
11	写真「高岡市内での防火演習」	昭和16年(1941)頃	1	—	伏木湊町。屋根の上までバケツリレーをしている	高岡市
12	国民服（乙号）・儀礼章「八紘一字」佩用	—	2	—	軍服と同じカーキ（国防）色で、儀礼章をつければ礼服となった	当館
13	国民服・国民帽・紙製メガホン・防空団腕章・ゲートル	—	7	—	腕章には「高岡・旅籠町／防空団／防火」とある	当館
14	救護班・防空団副団長腕章	昭和戦中	2	—	高岡市救護班（高岡警察署）と、高岡市旅籠（旅籠）町の防空団副団長の腕章	神保成伍氏、当館
15	警防団制服	昭和戦中	1	着丈57.7×身幅45.0×袖丈49.5	富山県射水郡二塚警防団（灯火管制部）の団員に支給されたもの	当館
16	『警防手牒』	昭和16年(1941)4月1日交付	1	12.1×8.5×厚1.0	警防団は昭和14年に設立された民間の消防や防災・防空のために組織された団体	当館

17	防毒マスク	昭和16年(1941)	1	幅18.0×奥行9.5×高14.0	警防団用の隔離式と民間人用の直結式の二種類があった。防空訓練などのために常備していた	当館
18	写真「防毒講習会」	昭和戦中	1	—	毒ガスが撒布された場合を想定して開かれた	高岡市
19	写真「防護団事務所」	昭和16～20年(1941～45)頃	1	—	高岡市定塚町4丁目にあった防護団事務所	当館
20	防護団事務所看板	—	1	176.0×26.1×厚2.8	上記の写真の左側に写る看板	当館
21	折畳式電灯カバー・遮光幕	昭和戦中	2	—	電灯カバーには様々な種類があった	当館
22	金属供出広報ビラ「戦場に活かす銃後の鉄と銅」	昭和戦中	1	24.8×26.5	富山県・大政翼賛会・戦時物資活用協会の連名	当館
23	戦時下代用品	昭和戦中	8	—	陶製の湯たんぼ、釜、国策湯たんぼ、錘、水筒、おろし金、紙製の爪掛（履物の爪先カバー）	神保成伍氏、 当館
24	写真「戦争のための金属回収」	昭和戦中	1	—	金属が供出されると鍋釜などの生活必需品をはじめ、あらゆる物の代用品が陶器や紙・木・竹などで作られた	高岡市
25	国産奨励新興工業展覧会・附設廃品回収利用展覧会 出品目録	昭和13年(1938)9月8日～12日	1	19.5×54.1	戦時の経済変革期に対処した振興製品の誕生と、代用品の奨励普及振興のために開催された展覧会の出品目録	当館
26	「銅像代用 二宮金次郎九谷陶像の葉」	昭和16～20年(1941～45)	1	18.3×45.0	九谷陶像製作所製。戦時下の代用品として二宮金次郎像が九谷焼で作られた	当館
27	写真「戦場の模様を高岡銅器工場で製造」	昭和16年(1941)5月	1	—	上海忠霊塔苑内の忠霊碑の彫刻部分が高岡銅器業界に発注され、工費6万円、故銅10トンが特配された	高岡市
28	戦時下のレコード	—	6	—	勇ましい軍歌や愛国心を高める歌が盛んに作られた	神保成伍氏
29	隣組（隣保組）回覧板	昭和戦中	1	21.9×18.7	高岡文化協会が「節米対策三ヶ條」を示して、配給制による米不足に対処させている	神保成伍氏
30	隣組歌詞茶碗	昭和戦中	3	—	「隣組」は岡本一平作詞、飯田信夫作曲で、歌は徳山璉。昭和15年(1940)6月17日発売	神保成伍氏
31	SPレコード『隣組』	昭和15年(1940)6月17日発売	1	径25.0	隣組を宣伝啓発する内容の歌であり、歌詞には隣組の利点などが歌われている	神保成伍氏
32	愛国うちわ	昭和13年(1938)頃	1	36.3×22.8	昭和13年発売の「愛国行進曲」（作詞：森川幸雄、作曲：瀬戸口藤吉）の1番の歌詞が書かれている	当館
33	文化ニュース劇場ポスター	昭和16年(1941)6月	1	54.0×38.5	「参戦か？不介入か？アメリカ軍備を覗く」とあり、当時の関心事がうかがえる	当館
34	衣料切符	戦中～戦後	3	—	昭和17年(1942)から点数制の衣料切符による配給統制が開始された	神保成伍氏、 当館
35	各種の購入票	戦中～戦後	8	—	配給制は昭和15年(1940)に六大都市を中心にまずマッチと砂糖から始まった	当館
36	『主婦之友』	昭和17年(1942)2～4月	3	—	「大東亜戦争特輯 決戦生活号」、「同 決戦家庭経済号」、「決戦下の家庭教育号」	当館
37	『日本婦人』第2巻第8号	昭和19年(1944)9月1日発行	1	20.9×15.0	「完全待避は勝利の第一歩」として、完全待避壕、特に「掩蓋」の作り方を記している。大日本婦人会発行	神保成伍氏
38	防空頭巾	—	2	—	空襲の戦火から身を守るための頭巾	当館
39	勤労働員婦人の雑誌	昭和18～19年(1943～44)	3	—	『婦人倶楽部』第24巻第2号、『写真週報』第297号、「同」313号	神保成伍氏
40	国民勤労報国隊協力令書	昭和戦中	2	—	大日本婦人会高岡支部長より、高岡市向野町の帝国特殊製鋼株式会社高岡工場での勤労命令書	神保成伍氏
41	写真「高岡へ進駐軍」	昭和20年(1945)	1	—	進駐軍を駅で迎える木津太郎平高岡市長	高岡市
42	写真「進駐軍の慰労会」	昭和20年(1945)	1	—	市当局が進駐軍を料亭に招待し、慰労会を開いて意思の疎通を図った	高岡市
43	引揚証明書・復員証明書	昭和22年(1947)	2	—	終戦により中国遼寧省大連市より長崎県の佐世保港へ妻子を連れて復員した陸軍伍長に発行された	当館
44	高ノ宮市場登録者証明票	昭和前期	2	—	高の宮（高岡関野神社）市場が業者を登録制にして商売を正式に認可した証明票	当館
45	写真「初めて見る高射砲」	昭和11年(1936)	1	—	市民の戦意を高揚する行事が盛んに行われ、公園広場に高射砲が展示された	高岡市
46	写真「千保川での架橋訓練」	昭和11年(1936)頃	1	—	敵機の襲来で、橋が爆破されたという想定で、舟橋などを架ける訓練が行われた	高岡市
47	写真「提灯行列（南京陥落）」	昭和12年(1937)	1	—	日中戦争時、中華民国の首都南京が陥落したことを祝って、市民が提灯行列で歓喜した	高岡市
48	写真「国鉄高岡駅前広場」	昭和16年(1941)頃	1	—	「皇軍万歳」の塔が時局を偲ばせる	高岡市
49	写真「片原町旧高岡市役所前の垂れ幕 祈武運長久」	昭和10～20年(1935～45)	1	—	前線で戦う将兵のため「祈武運長久」の文字がいたるところにみられた	高岡市

3 子供たちと戦争

No.	資料名称	年代	点数	寸法 (縦×横, cm)	備考	所蔵
1	児童画「読書」	昭和11年(1936)	1	32.7×47.4	高岡市立二上尋常小学校5年生・川邊弘君の作品。5学年の一等賞	当館
2	習字「国体明徴は図書館より」	昭和11年(1936)	1	32.5×47.5	高岡市立平米町尋常小学校6年生・板坂勲君の作品。6学年の一等賞	当館
3	児童習字「皇威輝万邦」・「君恩万倍深」	—	2	—	共に「十歳 服部富士雄謹書」とある。共に皇室への崇敬の念を表す文言である	当館
4	戦時下の教科書	—	9	—	昭和15年(1940)以降の国民学校の教科書は、軍事主義と忠君愛国思想を徹底させ、「少国民」を育てる意図が感じられる	当館
5	高岡市定塚町青年学校への援助願書	昭和13年(1938)7月1日	1	17.8×25.5	高岡市定塚町青年学校後援会長・正村五平と学校長・金丸栄太郎から、定塚町青年学校後援会員宛て	当館
6	戦時下の紙製遊具	昭和戦中	4	—	家族合、軍事カルタ、軍隊総合合わせパズル、愛国百人一首	神保成伍氏、当館
7	出世双六	昭和10年(1935)1月1日発行	1	54.0×78.7	日本の歴史上で出世を遂げた人物がマスに描かれている。大日本雄弁会講談社発行	神保成伍氏
8	東郷元帥出世双六	昭和11年(1936)1月1日発行	1	53.5×77.4	東郷平八郎の出世物語が絵と文章でマスに記されている。大日本雄弁会講談社発行	神保成伍氏
9	鉄兜	—	1	径23.0×高9.8	アルミ製。子供のおもちゃ	神保成伍氏
10	米つき一升瓶	—	1	底径11.7×高36.1	配給の玄米を一升瓶に入れ、棒について精米した	当館
11	『大毎コドモ』	昭和10～13年(1935～38)	4	—	「海軍々縮会議と正しい日本の言ひ分」や「武士の心情」など。大毎こども会出版	当館
12	日の丸手旗	—	1	25.3×35.2	出征兵士の見送りや祝勝集会などの各種行事に用いた	和田美寿子氏
13	写真「小旗を持って出征兵士を送る幼児たち」	昭和10～20年(1935～45)	1	—	高岡市伏木にて撮影	伏木保育園
14	絵葉書「高岡市博労町小学校奉安式」	大正10年(1921)以降	1	9.1×14.1	奉安式とは、奉安殿に下賜された天皇・皇后両陛下の写真(御真影)や教育勅語などを納める儀式	当館
15	菊花紋章	昭和前期	1	径35.8×厚2.5	川原小学校講堂掲示用。同校では奉安殿が屋外ではなく、講堂の舞台の奥に設置されていた	当館
16	富山県児童十則(礼法・保健・生活)	昭和13年(1938)2月	1	24.3×33.3	般若野尋常小学校(現高岡市立中田小学校)発行の児童の心得。礼法・保健・生活の各10則	当館
17	写真「学童疎開」	昭和19～20年(1944～45)頃	1	—	東京から富山県への学童疎開は、都市部の空襲が激しくなった昭和19年に始まった	高岡市
18	木銃	—	1	長165.0×幅9.7×厚3.0	主に銃剣術用として、旧制中学校や専門学校の軍事教練で使用された	当館
19	写真「女学生の軍事教練」	—	1	—	戦時訓練のため、女学校でも軍事教練が行われた	高岡市
20	写真「畑を耕す子供たち」	—	1	—	食糧自給のため、子供たちも学校の校庭での農作業に追われていた	高岡市
21	満州引揚時のリュック	昭和前期	1	53.0×46.0	終戦の混乱期、満州・新京(現長春)から日本へ向けての逃避行で7歳の少女が使用したもの	当館
22	戦時中の子供向けレコード	—	7	—	行進曲など、軍事色の強い曲が多くある	神保成伍氏、当館
23	写真「戦後の混乱期の小学生の服装」	昭和23年(1948)	1	—	高岡市博労小学校児童記念写真	高岡市立博労小学校

4 作文・手記にみる戦時下の暮らし

作者・タイトル	出典
H.M「聞きかじりの戦争体験記」・津幡五月「戦中の小学校の思い出」・佐賀すみ子「笑えぬナンセンス」・村本静子「『ぜいたくは敵だ』」・村本愛子「母の真心」・福島秀子「戦時中の思い出」・山下ふさ子「私の戦争の思い出」・野村花子「私の戦中戦後」・杉浦国子「戦争教育」・柳沢京子「我が家の強制疎開」・中西孝栄「小さい命」・黒田綾子「戦争中の衣料店」・中山登志「戦争体験記」・辻千和子「戦争は二度と繰り返してはいけない」・T.T「何もかも配給制」・吉田由紀子「姑から聞いて」・嵯峨姫子「父の戦死」・E.M「青春の思い出」	『手記特集 育てよう 平和を!』高岡市定塚校区婦人会発行、昭和61年(1986)
天秤与八郎「召集兵を見送る」・池田弘基「僕の思い出」	『博労児童作品史』高岡市立博労小学校発行、昭和56年(1981)
高岡川原小学校5年「おむかえ」	『小学作文 第1巻第4号』富山県作文研究会発行、昭和24年(1949)
土岐慶哉(講演要旨)	語り継ぐ戦争体験「出征・シベリア抑留そして復員」当館年報第12号、平成10年(1998)
室崎尚憲(抜粋)	室崎尚憲著『東部ニューギニア 高射砲隊 追憶記』戦史刊行会発行、昭和59年(1984)
米澤暢晃(抜粋)	米澤暢晃著『青果に魅せられて 米澤暢晃の軌跡』サンボウ発行、平成9年(1997)

※資料保存のため、一部展示替えをすることがあります。複写資料は割愛しました。写真・複数資料の寸法は割愛しました。

計 117件261点